

第71回国民体育大会（会期前実施競技） 選手団コメント

都道府県名	新潟県
-------	-----

コメント ※選手団のPRなど	新潟国体から7年、最も戦力の高いチームができました。 全ての種別で得点を獲得します。
-------------------	---

話題性のある選手・有望選手

選手名	競技種目	内容（話題性）
カガナ ハヤ カキ 林 和希	平泳ぎ	愛知県から長岡移り住み2年。ジャパンオープンでは、インターナショナルDの標準を破り自己記録を更新。今年は表彰台を目指すトップ選手。
カガナ カト コハイ 河本 耕平	バタフライ	今年37歳の現役選手。自らを侍スイマーと名乗る。幾多の試練を乗り越え、今年度チャンピオンに振り返ることを目指す。
カガナ ツミ タカ 堤 貴大	個人ドレー	兵庫県から長岡に移り住み2年。競泳選手として4泳法の美学を追及する。萩野、瀬戸に続き世界と戦う選手を目指す。
カガナ マツ コウカ 松井 浩亮	自由形	自由形短距離のスペシャリスト。日本選手権では過去3年間入賞。塩浦、中村に続き世界と戦う選手を目指す。
カガナ セウ ミチ 瀬倉 未智	自由形	大学を卒業し、かつての所属であるJSS長岡に戻り現役続行。今年度4月の日本選手権では100mバタフライで初入賞を果たす。競技に専念する環境を手に入れ、進化を続ける女子選手である。
カガナ ハラタ タマ 原澤 珠緒	バタフライ	高校1年生でありながら、今年度インターハイ2種目入賞を果たす。しかし、昨年度の自己記録はインハイの表彰台レベル。まだまだ、計り知れない力を潜在させている少年女子のホープである。
カガナ イザキ ケイタ 石崎 慶祐	自由形	昨年度国体の予選敗退を契機に、自分をとことん追い込む練習を重ね、1年間で急成長を遂げた。その力は1年生ながらインターハイで入賞するところまで来た。今年度国体で2種目優勝を狙う少年男子のホープ。

第71回国民体育大会（会期前実施競技） 選手団コメント

都道府県名	新潟県
-------	-----

話題性のある選手・有望選手

選手名	競技種目	内容（話題性）
<small>カガナ オムラ ルカ</small> <div style="text-align: center; padding: 5px;">奥村 晴香</div>	自由形	「この選手ほど努力できる女子選手はいない」と誰もが認める少年女子キャプテンである。2年間で100mの記録を2.5秒短縮し、インターハイで入賞を果たした。国体では50mとともに2種目の入賞を狙う。
<small>カガナ ヒグチ ヨウ</small> <div style="text-align: center; padding: 5px;">樋口 陽太</div>	自由形	インターハイでは1日目のリレーで入賞を果たすも、2日日本命の50m自由形のレースで予選9位となり、今シーズンに悔いを残すスプリンター。国体ではその思いを50m1本にぶつける。
<small>カガナ アサキ ヨウカ</small> <div style="text-align: center; padding: 5px;">青木 陽佑</div>	OWS	昨年度日本選手権4位で世界選手権代表を経験したOWSのトップ選手。正確なコース取りと磨き上げられた戦術により、自己の力を効率よくレースに注ぐことができる。混戦を制し上位入賞を狙う。
<small>カガナ カタ ケト</small> <div style="text-align: center; padding: 5px;">緒方 健人</div>	平泳ぎ	高校3年生で、国体は中学3年生以来2回目の出場。高1の弟も平泳ぎの選手で今年度国体に選考された。
<small>カガナ カタ ヲト</small> <div style="text-align: center; padding: 5px;">緒方 嵩人</div>	平泳ぎ	高校1年生で、国体初出場。高校3年生の兄とともに今年度は兄弟で新潟県の国体選手に選考された。
<small>カガナ ハセガワ エイジ</small> <div style="text-align: center; padding: 5px;">長谷川 英治</div>	飛込	新潟県飛込競技において常にトップを走り続けている選手である。大学進学後もコンスタントに好成績を上げており、71国体でも活躍に期待が持てる。